

第3回学校適正配置第五中学校区地域検討委員会 会議概要

○ 日 時 平成26年12月15日(月) 午後7時00分～8時00分

○ 会 場 大山コミュニティセンター

○ 次 第 1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

(1) 報 告

①学校適正配置の検討状況

②加茂地区懇談会からの報告

(2) 協 議

①地域検討委員会としてのとりまとめ

(3) その他

①今後の進め方について

4. 閉 会

○ 公開・非公開の別 公開

○ 傍聴者の人数 3人

○ 審議事項

(1) 報告

①学校適正配置の検討状況

(事務局説明)

・鶴岡市全体における学校適正配置の進捗状況および第五中学校区における検討状況の概要について説明

②加茂地区懇談会からの報告

(報告)

23年に対象校となった時から、加茂地区としてどうするかを話し合ってきたが、決断に至るまでは慎重に回数を重ねて集まり、皆の意見を吸い上げてまとめてきたが、なかなか意見がまとまらなかった。26年3月までには方向性を出したいと考え、統合はやむを得ないというところまでは決まったが、相手校や統合の時期については意見が分かれた。そのため、10月まで検討期間を延長していただき、さらに会議等を重ねて、10月の地区理事会、評議委員会を経て、加茂地区懇談会としての意見を集約した。

結果としては、統合相手校については大山小学校、統合時期について平成29年4月ということで、統合はやむを得ないとの決断をした。

相手校については、湯野浜小学校と大山小学校で検討を重ねてきた。海がある湯野浜小学校という意見や五中学区全体を考えると大山に集約されていくのではないかとの意見もあり、この2年間、話が前に進んだり、後に戻ったりという感じだった。最終的には大山小学校と判断した。

統合時期については、本来であれば28年の春に開校ということだったが、人数の少ない加茂小学校から大きい大山小学校に行くにあたり、統合まで1年半では短いのでは

ないかなどいろいろな不安もあり、十分な交流期間をとっていただきたいとの思いから、29年の春に1年間延ばさせてもらった。

加茂の住民の皆さんからは、本当に苦渋の決断をしてもらった。子供達の将来の事を真剣に考えていただいたからこそ時間がかかってしまったが、加茂地区住民の総意になっていると思う。

(2) 協議

①地域検討委員会としてのとりまとめ

(事務局説明)

- ・地域検討委員会としてのとりまとめ方等を説明。

(加茂地区懇談会からの報告及びとりまとめ方等への質疑・意見)

- ・11月11日に両地区の事前協議を開催したとのことだが、大山地区からはどんな話が出たのか。
- ・加茂地区から29年4月に統合したいという報告があり、それに対して特に大山地区の委員から意見は無かった。受け入れるというような雰囲気だったと思う。
- ・子供が歩いて学校に通う姿が無くなるということで、加茂地区にとっては統合してからのほうが辛い思いをするのではないかと思う。そういった中で、子供達や加茂地区住民の方々が、大山と一緒に良かったと直ぐにはならないかもしれないが、いずれそういう日がくると思って精一杯統合の話し合いをしていきたい。
- ・27年1月に大山地区説明会が予定されているが、小学校でも説明会を開催し、小学校PTAの意見もまとめるということか。
- ・大山地区説明会で、統合案の説明という項目があるが、統合案とはなにか。
- ・次回地域検討委員会で承認された後から、いろいろなことが起こらないとよいという思いがある。
- ・大山地区でも幼稚園が廃園になった経緯があり、それなりの苦渋の決断を大山住民の方も経験しているので、心配するような意見は無いと思う。
- ・保護者については、小さな場で話をすると意見が出てくると思うので、1月までにPTAで話をしたい。それを踏まえて、1月の説明会の時に大山小PTAとしての意見を報告させていただきたい。

(事務局の回答)

- ・1月の大山地区説明会は、地区住民、小学校の保護者、未就学児の保護者あるいは同窓会の方ということで、対象者をオープンにした形での開催を考えている。そこで地域全体としてのご意見をいただき、それを第4回地域検討委員会に報告をしたい。これまで個別組織への説明会ということで、11月に町内会長や大山小PTA、大山小同窓会役員会で行った。このように、個別組織と地区全体の説明会を開催させていただいて、そこでの意見等を地域検討委員会に報告したい。1月の説明会の案内文書は、全戸配布のほか学校を通じて保護者に配布し、参加者が多くなるようにしたいが、もっと個別に説明会を開いてもらいたいとの要望があれば、都合がつく限りお応えしていきたい。

- ・統合案とは、次回統合準備委員会で協議していただく予定の学校再編計画の概要である。具体的には、加茂小学校と大山小学校が平成29年4月に統合し、新しい学校は大山小学校の位置とするというのが統合案である。

(3) その他

①今後の進め方について

(事務局説明)

- ・統合決定後に設置される統合準備委員会について説明。
- ・今次計画で統合にならなかった学校の取り扱いについて説明。

(質疑・意見等)

- ・加茂地区では統合はやむを得ないと結論が出た。先ほどから苦渋の選択と言ったが、過去の加茂中学校の統合で、何も問題がなかったというわけではないので、今度の加茂小学校の統合でも、いろいろな問題が出てくるのではないかという心配や不安もある。このことについては、皆さんと話をしながら、一度あった問題は二度と起こさないようにしていきたいというのが加茂の住民の考えと思う。